

がん政策サミット2013

～県計画の好事例を共有し実践していこう～

Cancer Policy Summit 2013

2013年5月17日(金)～19日(日)

ベルサール九段 3階ホールAB (東京都千代田区九段下)

がん政策サミットは、より良いがん対策に取り組む人々が全国から集まり、「六位一体*」で知恵を集める場です。第8回目の今回は、みんなで作ったばかりの47都道府県の「がん対策推進計画」について、11の分野ごとに、設定目標と具体的施策を読み込んでいきます。日本中の好事例や創意工夫を共有することで、新5カ年計画の協働作業の実践と、患者のための成果の実現に、役立てましょう。

5月17日 金曜日

12:00 【特別プログラム】国会がん患者と家族の会(超党派がん議連)
「がん登録の法制化、実現へ」

挨拶	代表世話人	尾辻 秀久さん
行政の立場から	厚生労働省 健康局長	矢島 鉄也さん
がん登録法制化に関する進捗報告		塩崎 恭久さん
進行	事務局長	梅村 聡さん

13:00 開会挨拶 日本医療政策機構 代表理事 黒川 清

13:15 参加者自己紹介 (ランチ)

14:15 <休憩>

■ 県計画の好事例を共有しよう ■

14:45 プログラム趣旨説明
日本医療政策機構 がん政策情報センター長 埴岡 健一

15:10 セッション① 役割分担
滋賀県 菊井 津多子さん (患者関係者8人の作業まとめ発表)
国立保健医療科学院 統括研究官 今井 博久さん

15:55 セッション② 小児がん
大阪府 濱本 満紀 さん (患者関係者7人の作業まとめ発表)
広島大学病院 小児外科 教授 檜山 英三さん

16:40 <休憩>

17:00 セッション③ がんと診断された時からの緩和ケアの推進
島根県 納賀 良一さん (患者関係者8人の作業まとめ発表)
帝京大学医学部内科学講座 教授、帝京がんセンター長 江口 研二さん

17:45 セッション④ がん患者の就労を含めた社会的な問題
鹿児島県 三好 綾さん (患者関係者7人の作業まとめ発表)
国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長 高橋 都さん

18:30 終了 (会場にて全員集合写真撮影)



市民医療協議会
Commission on Citizens and Health

日本医療政策機構
Health and Global Policy Institute

がん政策サミット2013

～県計画の好事例を共有し実践していこう～

Cancer Policy Summit 2013

5月18日 土曜日

- 9:00 前日の振り返り がん政策情報センター長 埴岡 健一
- 9:15 セッション⑤ がんに関する相談支援と情報提供
岐阜県 橋渡 智美さん（患者関係者7人の作業まとめ発表）
国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報提供研究部長 高山 智子さん
- 10:00 セッション⑥ がんの教育・普及啓発
宮崎県 長友 明美さん（患者関係者7人の作業まとめ発表）
ジョージメイソン大学 ヘルスコミュニケーション 教授 ギャリー・クレップスさん
- 10:45 <休憩>
- 11:00 セッション⑦
放射線療法・化学療法・手術療法の更なる充実とチーム医療の推進/医療従事者の育成
岩手県 千葉 武さん（患者関係者7人の作業まとめ発表）
読売新聞社東京本社 編集局社会保障部 記者 本田 麻由美さん
- 11:45 セッション⑧ 地域の医療・介護サービス提供体制の構築・在宅医療
山梨県 若尾 直子さん（患者関係者7人の作業まとめ発表）
日本経済新聞社大阪本社 編集局社会部 記者 前村 聡さん
- 12:30 ランチョンセミナー
「都道府県がん計画実行への期待」
がん研有明病院 院長 門田 守人 さん
「地域連携における拠点病院の役割」
国立がん研究センター 理事長 堀田 知光さん
- 13:15 休憩
- 13:30 セッション⑨ がんの予防
青森県 瀧川 啓子さん（患者関係者6人の作業まとめ発表）
国立がん研究センター たばこ政策研究部長 望月 友美子さん
- 14:15 セッション⑩ がんの早期発見
千葉県 斎藤 とし子さん（患者関係者7人の作業まとめ発表）
国立がん研究センター がん予防・検診研究センター
検診研究部 研究員 雑賀 公美子さん
- 15:00 休憩
- 15:15 セッション⑪ 評価と指標
千葉県 藤田 敦子さん（患者関係者8人の作業まとめ発表）
東京大学大学院 医学系研究科 医療品質学講座 特任助教 大久保 豪さん



市民医療協議会
Commission on Citizens and Health

日本医療政策機構
Health and Global Policy Institute

がん政策サミット2013

～県計画の好事例を共有し実践していこう～

Cancer Policy Summit 2013

- 16:00 「がん計画目標達成に向けて」(仮)
厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課 がん対策推進官 岡田 就将さん
- まとめ がん政策情報センター長 埴岡 健一
参加者コメント(議員・行政担当者・医療提供者のみなさん)
- 17:15 終了

5月19日 日曜日 (患者関係者のみ)

- 9:00 【特別企画】アドボカシー活動の向上と発展
1)「患者アドボカシーカレッジプログラム」企画紹介 がん政策情報センター事務局
2)「患者アドボカシーアウトカム評価プロジェクト」紹介 同上
- 講演:「アドボカシー活動を学ぶことの意義」 米国患者アドボケート ポーラ・キムさん

- 10:15 <休憩>

■ 県計画を実践していこう ■

- 10:30 県計画目標達成に向けて、患者として実践していくこと(意見交換)
- 11:20 まとめ がん政策情報センター長 埴岡 健一
参加者コメント
- 12:00 終了

* 六位一体とは、患者、議員、行政、医療提供者、民間、メディアの6つの立場が一緒に協働作業を行うことです。
当日のプレゼンテーションスライドは、5月23日以降、“参加者特設サイト”にてご覧いただけます。

がん政策情報センタープログラムは、特定非営利活動法人 日本医療政策機構 市民医療協議会の活動として行っております。市民医療協議会の活動は、次の方々よりご支援をいただいております。
(2013年5月17日現在、50音順)

MSD株式会社、協和発酵キリン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、
日本イーライリリー株式会社、Pfizer Inc.、個人



市民医療協議会
Commission on Citizen and Health

日本医療政策機構
Health and Global Policy Institute